

2016年6月7日  
株式会社東陽テクニカ

次世代仮想インフラストラクチャ検証アプリケーション  
「Spirent CloudStress」の販売開始  
～ “Interop Tokyo 2016”に展示 ～

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）は、通信・IT 関連測定器のリーディングカンパニーである米国 Spirent Communications 社が開発・製造する「Spirent CloudStress」の販売を 2016 年 6 月 1 日より開始いたしました。仮想化環境に総合的な負荷をかけ、NFV<sup>※1</sup> やクラウドインフラストラクチャの評価が可能な次世代仮想化インフラストラクチャ検証アプリケーションです。

東陽テクニカは、2016 年 6 月 8 日から千葉県幕張メッセにて開催される国内最大級の ICT イベント “Interop Tokyo 2016”に出展、(株)東陽テクニカ/スパイレント・コミュニケーションズ ブース<4J13>に本製品を展示いたします。

サーバ製品の性能やソフトウェア技術の向上により、さまざまなネットワーク領域で仮想化技術の導入が進んでいます。近年は通信事業者ネットワークに仮想化技術を導入する事例も増加しています。仮想化のメリットでもある“高い拡張性”、“コストメリット”が導入のモチベーションとなっていますが、専用物理筐体を使用した従来ネットワークと同じ試験だけでは、仮想化ネットワークに特化した機能や動作への評価/検証がカバーできないのが現状です。今後、さらに仮想化ネットワークの拡張が行われていく中、既存のもの以上に複雑なネットワークをより効率的かつ安定して構築/運用していく上で、仮想化インフラストラクチャの検証は必要不可欠です。

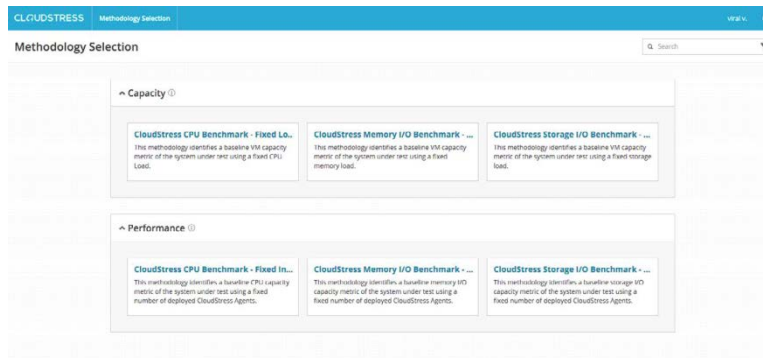
今回販売の次世代仮想インフラストラクチャ検証アプリケーション「Spirent CloudStress」は、仮想化ネットワーク環境で発生しうる、マルチベンダーアプリケーションでの統合的な負荷生成や、仮想化環境ネットワークを構築・運用する通信事業者が、最も重要な仮想化インフラストラクチャ評価を実施できる、次世代仮想インフラストラクチャ検証アプリケーションです。「Spirent CloudStress」でシミュレートされたワークロードによって、CPU、メモリ、ストレージ、およびネットワーク I/O を含めたインフラストラクチャの統合試験の実施が可能です。生成可能な負荷パターンの再現性と現実的なプロファイルで、NFV やクラウドインフラストラクチャに与える影響の評価や VNF<sup>※2</sup> アプリケーションを拡張する際に役立ちます。



- ※1 NFV : Network Function Virtualization. ネットワークを制御する通信機器の機能をソフトウェアとして実装し、汎用サーバの仮想化された OS 上で実行する方式。
- ※2 VNF: Virtual Network Function. ネットワーク機能を実現するためのソフトウェアパッケージ。

### 【「Spirent CloudStress」の特長】

- \* Web ベースのテンプレートを使用したアプリケーション
- \* 実環境下での仮想マシン設定をシミュレートし、複数仮想化インフラストラクチャを比較/チューニング
- \* 仮想インフラストラクチャのパフォーマンス予測/パフォーマンスチューニング
- \* インフラストラクチャ改善のためのリアルタイム統計と結果分析
- \* 仮想マシンおよびインフラストラクチャとの間で問題を特定
- \* “仮想マシンのスケールアウト/オートヒール機能”を検証する機能
- \* CPU、メモリ、ストレージ、ネットワーク I/O のためのパフォーマンス/キャパシティベースメソッドロジ



<キャパシティ/パフォーマンスベースメソッドロジ画面例>

### 【製品データ】

製品名 : 「Spirent CloudStress」

販売日 : 2016 年 6 月 1 日

### 【Spirent Communications 社 担当コメント】

米国 Spirent 社製「Spirent CloudStress」は洗練された使いやすい Web ベースの GUI で、プロアクティブにバーチャルインフラストラクチャの問題点切り分けツールとして誕生しました。その核心である「Spirent CloudStress」は総合的（CPU、メモリ、ストレージ、ネットワーク）に負荷を発生し、仮想マシンやコンテナ上のアプリケーションをエミュレーションし NFV や Cloud インフラストラクチャの開発評価が実現可能な次世代の革新的バーチャル評価測定ツールです。

Malathi Malla 氏(Sr Manager, Product Marketing Cloud & DataCenter)

東陽テクニカは、今後も通信サービスを提供する通信事業者やサービスプロバイダーおよび通信機器製造業者向け負荷測定器の提供を通じ、通信サービスの高速化と品質の向上に貢献してまいります。

### <Spirent Communications 社について>

Spirent Communications 社（本社：米国カリフォルニア州）は、IT・通信業で用いられる最新の技術、インフラストラクチャ、アプリケーションを評価するための先進的な測定器、測定手法を開発・提供しています。研究開発ラボおよび通信事業者、通信機器製造会社、一般企業の IT 部門など全世界で幅広く使用され、リーディングカンパニーとして長年通信事業の品質向上に貢献しています。同社のソリューションによって、100G イーサネット、LTE/無線 LAN/衛星通信、NFV/クラウド、IoT/M2M、セキュリティなど、IT・通信に関わるあらゆる観点での性能・品質確認が可能になります。

東陽テクニカは同社の国内総代理店です。

### <株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、昭和 28 年の設立時より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供してきました。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、470 名を超える全従業員の 9 割近くを占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。

東陽テクニカ Web サイト：<http://www.toyo.co.jp/>

### ★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL：03-3245-1250（直通）

E-mail：[temeva@toyo.co.jp](mailto:temeva@toyo.co.jp)

「Spirent CloudStress」製品ページ：

[http://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/spirent\\_virtual\\_sol\\_cs](http://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/spirent_virtual_sol_cs)

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。